

令和6年度 授業改善推進プランのねらい

昭島市立拝島第三小学校

- ・児童の興味・関心を高め、理解を深めることにより各教科のねらいを達成し、学力向上を図る。

授業改善推進プランのポイント

- ・基礎的・基本的な内容の定着
- ・問題解決の過程を重視し、資質・能力を高める授業
- ・ICT機器の有効活用

授業改善推進プラン 各学年の取り組み(学年についた教科のねらいを達成するために)

	国語	算数	
1年	<p>【単元名】 1学期「みののかくれいんぼ」説明文 2学期「じどう車くらべ」説明文 3学期「いいこといっぱい」1年生」書く 【具体的な方策】 ①音読や漢字の指導に重点を置く。漢字は短文作りなどを通して、文章の中で使えるようにする。 ②話型などを示して、話す・聞くことの指導を充実させる。 ③ICTで挿絵を提示したり、くじラーニングの演習を個別に取り組ませたりする。 ④読み聞かせなどを行い、読書活動の充実を図る。 ⑤観察や経験したこと、感想などを書く活動を日常的に取り入れる。 ⑥語彙を増やすために、ことわざの暗唱やカルタに取り組む。 ⑦朝の学習タイムにかたかなの練習を毎日実施し、習熟を図る。</p>	<p>【単元名】 1学期「あわせていくつふえるといくつ」 2学期「たしざん」「ひきざん」 3学期「たしざんとひきざん」 【具体的な方策】 ①ICTを使って視覚的に分かりやすく提示する。 ②算数ブロックやカードなどの具体物や半具体物を使った操作活動を多く行い、反復練習することで計算力につなげる。 ③学習の導入時に、課題をもって自分で解き、発表し合う問題解決型の授業を行う。→どんな時? ④ノートの書き方を手本を示して指導する。 ⑤授業開始時、計算問題に取り組む。 ⑥タブレットを活用し、くじラーニングの演習を個別に取り組ませる。</p>	
2年	<p>【単元名】 1学期「スイマー」物語文 2学期「お手紙」物語文「馬のおもちゃの作り方」説明文 3学期「スーの白い馬」物語文 ・通年 漢字学習・ことばの学習・日記 【具体的な方策】 ①時間的な順序や、事柄の順序を表す言葉を見つけ、出来事の内容をつかめるようにする。 ②考え方を伝わるように説明する順序を考えたり、感想を短い文で書いたりできるようにする。 ③日々の漢字学習の際に、漢字の成り立ちや意味を考え、学習した漢字を使った言葉集め、文作りを通して、語彙を増やす。 ④デジタル教科書を効果的に活用する。</p>	<p>【単元名】 1学期「たし算のひっ算」「ひき算のひっ算」「時こくと時間」 2学期「長方形と正方形」「かけ算」 3学期「41のたの数」「箱の形」「分數」 【具体的な方策】 ①基礎基本の定着のために、毎日家庭学習の課題に出す。復習をしながら、繰り返し計算練習に取り組めるようにする。 ②図形や数量関係の領域では、30cmものさしや直角三角形などの具体物を使用する。デジタル教科書を活用し、視覚的にイメージがいやすいようにすることで理解を深める。 ③日常生活との関連を示し、児童自ら活動する機会を多く取り入れる。 ④タブレットを活用し、くじラーニングの演習を個別に取り組ませる。</p>	
3年	<p>【単元名】 1学期「こまを楽しむ」説明文 2学期「いらっしゃるのかげおぐり」物語文 3学期「それがわたしのお気に入り」書く 【具体的な方策】 ①漢字について、家庭学習を活用し繰り返しの練習をする。 ②分かからない言葉を自分で調べる習慣を付けるために、辞書引きの学習を継続する。 ③朝学習の時間をつかって、漢字の定着を図る。 ④読書の習慣については、図書の時間や読書週間、朝読書を通して身に付けてさせる。 ⑤ローマ字は、タブレットを活用し、通年で取り組む。 ⑥調べごとや自分の考え、感じたことを書く取り組みを継続的に行う。</p>	<p>【単元名】 1学期「わたしたちの昭島はつけん」 2学期「わたしたちのくらしへいごと」 3学期「くらしのうりつけいり」 【具体的な方策】 ①タブレットで撮影した写真を大型テレビ等で提示し視覚的な支援を行う。 ②地図記号の小テストやかるたを使って、定着を図る。 ③資料やグラフの読み取りを丁寧に指導する。 ④ノート指導の充実を図る。 ⑤調べ学習・見学を通して、分かった情報を選んだり整理したりしてまとめる力を付けていく。</p>	<p>【単元名】 1学期「あまりのあるわり算」 2学期「円と球」 3学期「三角形と角」 【具体的な方策】 ①図や式や言葉で考えたことを表させ、それらを説明させ、集団で学び合わせることで、表現の多様さや豊かさ、数量感覚を育てる。 ②半具体物やデジタル教科書、ICT機器を活用することで、視覚的に理解できるようにし、多様な数の見方や、图形への理解を高める。 ③日常生活と連携した問題場面を設定し、生活中に生かそうという態度を育成する。 ④小数は0.1をもとにして計算するなど小数や分数の構成を理解させる。</p>
4年	<p>【単元名】 1学期「新聞をつくろう」書く 2学期「ごんぎつね」物語文 3学期「しのものときこそなえよう」書く 【具体的な方策】 ①国語辞典やタブレットを利用し、単元の初めに意味調べを行い、分かったことをノートに記録する。 ②物語文や説明文の読み取りを行った後、物語の登場人物に対して、または筆者の考えに対して自分の考えを書く機会を増やす。 ③授業で学校図書館を活用したり、朝学習などに読書活動をしたりして読書の機会を増やす。 ④漢字テストなどの学習活動を通して、単語ではなく文章を書かせることにより新出漢字や新しい言語の取得を目指す。 ⑤調べごとを分かったことを記録する経験を増やす。調べごと付けて考え、東京都に貢献してきた人々の思いや願いをノートにまとめる。 ⑥朝学習課題を明らかにし、児童の問題意識を高めながら、インターネットや資料等から必要な記事やデータを収集させる。それを基にして、自分の言葉でまとめ、記録することができるようになる。 ⑦教科書の資料から分かったことと、授業のねらいとを結び付けて考え、東京都に貢献してきた人々の思いや願いをノートにまとめる。</p>	<p>【単元名】 1学期「安全なくらし」「住みよいくらし」 2学期「郷土の巻展につくす」 3学期「わたしたちの東京都」 【具体的な方策】 ①都道府県について、年間を通してミニテストやカルタ、音読などを用いて指導し覚えさせる。 ②学習する場所や施設について、タブレットを活用して調べたり、映画を見たりして分かったことを記録する活動を風増やす。 ③単元の学習課題を明らかにし、児童の問題意識を高めながら、インターネットや資料等から必要な記事やデータを収集させる。それを基にして、自分の言葉でまとめ、記録することができるようになる。 ④教科書の資料から分かったことと、授業のねらいとを結び付けて考え、東京都に貢献してきた人々の思いや願いをノートにまとめる。</p>	<p>【単元名】 1学期「角の大きさ」 2学期「わり算のひっ算(2)」「倍の見方」 3学期「分数のかけ算とわり算」 【具体的な方策】 ①定義や性質について、具体物やデジタル教科書を活用し、視覚的に理解させ、理解したことを言語化させる活動を繰り返し、图形や数量についての概念形成を図る。 ②学習したことを具体的な生活場面と関連させ、実感を作り理解させる。 ③課題を自力解決し、図や式や言葉で表させ、集団で学び合わせることで、表現の多様さや思考力・判断力などを育てる。 ④本時の課題、答えを出すまでの過程、答え、本時のまとめなど、毎時間ノートに書くことを繰り返すことにより、学習の定着を図る。 ⑤くじラーニングを活用して既習事項をぐり返し復習し、基礎基本を定着させる。</p>
5年	<p>【単元名】 1学期「みんなが過ごしやすい町へ」書く 2学期「グラフや表を用いて書こう」書く 3学期「大造いさんとがん」物語文 【具体的な方策】 ①文章構成図を使って全体を一覧できたり、振り返ったときに学習内容が一目で分かたりできるノートの取り方を指導する。 ②国語辞典やタブレットを利用し、言葉の意味の理解を深め、語彙を増やす指導をする。 ③物語文や説明文の読み取りを行った後、物語の登場人物の気持ちや筆者の考えに対して自分の考えを書きこむ機会を増やす。 ④テーマに沿って自分の考えを書いたり、様々な文章を読んで自分の考えを書く活動をする。</p>	<p>【単元名】 1学期「日本の国土とわたしたちのくらし」 2学期「未来をつくり出す工業生産」 3学期「国土の自然とともに生きる」 【具体的な方策】 ①大型モニターやタブレットなどを活用し、イメージをもたせ、資料の比較や変化を理解できるよう、視覚的に分かりやすく提示する。 ②資料やグラフの読み取り方を丁寧に教え、問題解決の場面を多く取り入れる。 ③グループ学習を取り入れ、互いの意見を交流する場面を多くとり、児童相互の関わりを大切にする。 ④授業で地図等名は、地図で確認し都道府県についても定期的に復習できるようにする。 ⑤くじラーニングやドリル等で繰り返し復習することで、基礎基本を定着させていく。</p>	<p>【単元名】 1学期「合同な図形」 2学期「単位量当たりの大きさ」 3学期「割合」 【具体的な方策】 ①デジタル教科書を活用し、視覚的に理解させ、理解したことを言語化させる活動を繰り返し、图形や数量についての概念形成を図る。 ②図や式や言葉で考えたことを表させ、集団で学び合わせることで、表現の多様さや思考力を育てる。 ③乗法や除法の立式をし、式の意味を説明したりする際に数直線の図を活用させる。段階的に数直線ののかき方・見方を身に付けてさせる。 ④くじラーニングやドリル等で繰り返し復習することで、基礎基本を定着させていく。</p>
6年	<p>【単元名】 1学期「図計の時間と心の時間」説明文 2学期「みんなで楽しく過ごすために」話す・聞く 3学期「思い出を言葉に」書く 【具体的な方策】 ①物語文や説明文の読み取りを行った後、物語の登場人物の気持ちや筆者の考えに対して自分の考えを書き活動をする。 ②文章の構成を考え、必要な情報と関連づけながら理由を明確にして書けるようにする。 ③友達との意見を交流することを通して、自分の考え方と比較し、自分の考えを深めていくようにする。 ④漢字テストなどの学習活動を通して、文章を書かせることにより新出漢字や同音異義語など、言語の取得を目指す。</p>	<p>【単元名】 1学期「おたしたちの暮らしを支える政治」 2学期「全国統一への動き」 3学期「平和や豊かな暮らしを目指す」 【具体的な方策】 ①調べ学習を通して、教科書、資料集、インターネットなど、課題に応じて適切に情報収集する手段を選択する基礎的・基本的能力を育てる。 ②資料を比較したり、関連付けたりして共通点や相違点に気付かせ、思考力を高める。 ③毎時間、課題を明確にする。学習のまとめでは単元の学習問題に対する自分の考えを書かせる。 ④調べ学習、資料作成、話し合い活動でICT機器を活用し、思考力・判断力を高める。</p>	<p>【単元名】 1学期「比」 2学期「拡大図と縮図」 3学期「6年間の復習」 【具体的な方策】 ①単元の学習入部分で、前単元までに学習したことを振り返り、新たに学習する内容との違いに気付かせる。中学校で学習する内容につながるよう指導する。 ②デジタル教科書を活用し、視覚効果を生かして学習を進める。拡大図と縮図に関する知識や图形のかき方の既習事項の確認をおさえつつ、作図に取り組ませる。 ③導入の視覚化を工夫し、問題場面を捉えやすくし、必要な情報を考えさせるようにする。</p>

★改善のポイントは各学年の年間計画・週案簿に朱書きし、授業改善を行う。